

第17期船橋市男女共同参画推進委員会第3回会議録

1. 開催日 令和5年2月1日(水)午後1時30分から
2. 開催場所 市役所9階 第1会議室
3. 出席者 11名(欠席2名)
4. 傍聴者 1名
5. 議題
(1) 第4次男女共同参画計画事業評価報告書 及び 概要版について

〈事務局〉

それでは、定刻となりましたので只今より第3回船橋市男女共同参画推進委員会を開始いたします。

この会議は、船橋市情報公開条例第26条の規定に基づき公開となっております。また、会議録につきましても市のホームページで公開いたします。

配布資料の確認をさせていただきます。次第をご覧ください。

配布資料は事前に郵送させていただいた、

資料1 第4次船橋市男女共同参画計画事業評価報告書 レイアウト案
と、本日お配りした

資料2 第4次船橋市男女共同参画計画事業評価報告書(概要版)レイアウト案

資料3 第3次船橋市男女共同参画計画 個別事業評価シート

資料4 個別事業評価シート【分野ごとに結合】

また、令和4年実施の標語コンクールに参加した中学生にお送りしている参加賞のエコバッグを本日お渡しいたしました。

不足等ございませんでしょうか。

よろしければ、以上で、配布資料の確認を終わらせていただきます。

なお、本日は畠中委員と高橋委員より欠席の連絡をいただいておりますので、ご報告いたします。

〈事務局〉

では、本日の議題に入りたいと思います。この後の進行につきましては、船橋市男女共同参画推進委員会設置要綱第5条に基づき、会長の大石様をお願いいたします。それでは大石会長お願いいたします。

〈大石会長〉

それでは次第に沿って、会議を進めていきたいと思えます。

議題（１）「第４次男女共同参画計画事業評価報告書 及び 概要版について」こちらの議題はひとつずつ確認したいと思えます。まずは事業評価報告書から事務局の説明をお願いします。

〈事務局〉

第４次船橋市男女共同参画計画 事業評価報告書について説明いたします。

資料１をご覧ください。

男女共同参画計画の実施にあたりましては、計画を効果的に推進するため、計画の進捗状況を点検・評価し進行管理に努めることとなっています。

計画の進捗状況の点検・評価については、まず各事業担当課が年度ごとに自己評価を行い、内部組織である庁内連絡協議会における協議を経て当推進委員会に意見をいただくものとなっております。

今回、令和４年度から新たに、第４次船橋市男女共同参画計画がスタートしましたので、レイアウトを見直し、より効果的なものへと変更しましたのでご報告いたします。今お配りしている資料につきましてはそのサンプルとなります。

基本的には第３次計画と同様の内容となります。資料をめくっていただき、目次をご覧ください。

まず、大まかな構成としては、計画の趣旨や期間、計画の体系図や事業の一覧が続きますが、この中でレイアウトが変わる部分がございます。

１６ページの「評価結果」をご覧ください。

このページでは、従来通り各課の評価結果を取りまとめたものを掲載しておりますが、より見た方の目を引くために、分野ごとにグラフを掲載いたしました。

なお、グラフにすでに数値が入っておりますが、あくまでもサンプルとして入れた物で、実際の数値は今後取っていく事となります。

続きまして２２ページ３．個別事業評価シートをご覧ください。

こちらは各課の事業の報告内容の一覧となります。

第３次計画の際は１事業につき１枚のシートで作成しておりましたが、今回からは紙の消費量削減の観点から各事業実績を一覧にしました。参考までに３次計画の際のレイアウトを資料３として添付いたしましたので、併せてご参照ください。

冊子の資料１に戻ります。表の左から計画の施策の体系に沿って「課題」「方針」「方策」「方策の方向性」そして、事業番号と担当課が行う事業名が記載されています。

第４次計画の事業数は１３９事業あり、その事業の担当課がこの評価シート

を1事業ごとに作成いたします。

また担当課欄の右に「具体的な事業番号」と「具体的な事業」を記載しました。各課の行う「事業」の中で、具体的に何をするかを記載したものになります。

これは、一つの「事業」の枠組みの中で、複数の事業を行う場合があるためこのような記載をしております。

例えば、「事業番号」3をご覧ください。消防局総務課による「女性消防吏員の拡大に向けた積極的な広報等の取組」とありますが、その真下にも同じく事業番号3がございます。

これは「女性消防吏員の拡大に向けた積極的な広報等の取組」の一環として、その右にある「具体的な事業」として、「職員採用説明会にて女性消防吏員の活躍をアピール」、「職員募集ポスターによるPR」を行っているという事です。

そのため、事業番号3に紐づいて、「具体的な事業番号」3、4を付番しております。

次に、指標名、指標の数値については計画終了の前年度である令和7年度を目標としております。一部、事業課の持つ他の計画などの兼ね合いで、令和7年度を目標としていないものもありますが、例外としてとらえて頂ければと思います。

次に、【男女共同参画に配慮した項目】についてですが、こちらは従来のものと項目を変更しております。

まず、2番目の固定的性別役割分担意識についてですが、第3次計画で元々項目としてはありましたが、内閣府の最新の計画では固定的役割分担意識とセットで「無意識の思い込み」という言葉が使われていたため、反映させました。

また、この表には記載されておりませんが、元々「男女間の格差改善のための積極的な措置の提供に配慮」という項目については、1番目の項目の中の「男女の差別を無くすことに配慮した」と重なる部分がありますので、統合しました。

各課については、これらの項目に配慮しつつ事業を実施する事を、この評価報告書を通じて意識付けして参ります。

最後に、現状では1行ずつ記載していますが、一番左の「課題」などは分野ごとにまとめることも可能です。比較できるレイアウトのサンプルを資料4としてつけましたので、どちらのレイアウトが良いか等、意見がありましたらこの後の質問でご発言願います。

その他の項目や、欄については基本的には3次計画と同様ですので、割愛させていただきます。

なお、皆様に資料を送付した後、いくつか修正させて頂いた点がありますのでご報告いたします。

資料4をご覧ください。

こちらは個別事業評価シートを分野ごとに結合したものです。元々の冊子では一行ずつ、課題・方針などを入力しておりましたが、グループごとにセルを結合いたしました。

また、事業についても一部修正しております。1ページ目をご覧ください。

具体的な事業番号14番についてです。事業として町会・自治会への意思決定過程への女性参画の促進と記載しております。

これに連動する指標ですが、元々「自治会加入世帯数」として入れておりましたが、第3次計画で元々指標として設定していなかったため削除いたしました。

次に3ページをご覧ください。

具体的な事業番号42についてですが、元々3行になっていたものを1行にまとめました。

これは元々一つの事業で、メニューとして分けて表記しておりましたが、複数にまたがって登録している団体が多く、一つにまとめても実数としてはあまり変わらないことから項目も一つに統合しました。

最後に、資料1の冊子に戻って36ページをご覧ください。

下の方にある具体的な事業番号126～128ですが、現状では「児童生徒へのカウンセリング」という事業に対して、指標が保護者アンケートにおける学校評価となっており、一見指標と事業が直接連動していないように見えております。

こちらに関しては、担当課である指導課と調整の上、必要に応じて指標を変更・削除する予定です。

評価報告書については以上です。

〈大石会長〉

ありがとうございました。事業評価をチェックしてフィードバックしてもらうというのを毎年していますが、昨年の事業評価報告書は1cmぐらいの分厚い物でした。それをコンパクトに読みやすくというのが今回このレイアウト変更の趣旨です。

その中で見やすくなった部分と、逆に見づらくなった部分も多分あると思うので、基本的なその評価の内容自体はそう変わるわけではないんですが、何か評価をする以上はわかりやすく。そして市民の方が見たときに、一覧性もありつつ見づらくない。微妙なバランスではあるんですけど、そのあたりは皆さんの忌憚のないご意見をいただけたらと思います。

まずレイアウトの件でいうと、一つ事務局から提案がありましたので、これを先に皆さんのご意見を聞きたいと思います。

資料4のレイアウトと、資料1の細かい評価シート22ページ目以下のレイ

アウトの関係でどちらがいいか、もしくは資料4をさらに良くすることも含めて、ご意見ご質問ある方お願いします。

〈小澤委員〉

はい。私は今日いただいた資料4の方が圧倒的に見やすいと思います。他のところも含めて詳細に見ていて、全部に書いてあるよりも、それぞれをちゃんと包括してある形に書いてある方が圧倒的に見やすいと思います。

〈大石会長〉

ありがとうございます。

〈中尾委員〉

私も、資料4の方がずっと見やすいと、こちらは賛成いたします。それから、資料4の2ページの男女共同参画に配慮した項目ですけれども、上にせっかく項目説明が四つ並んでいるので、下の一覧では項目1・2・3・4ぐらいに簡単にさせていただいた方が簡略化できると思います。

〈大石会長〉

文字の大きさとしては、第3次評価報告書もそう大きくはないですけど、さらに小さいですね。

〈中尾委員〉

多分、数字の1ぐらいで。他にも上に説明があるので。

〈大石会長〉

では、見やすさという点で、ぜひ意見をいただければと思います。どうぞ。

〈黒田委員〉

全体的にお聞きしたいのは、これはPDFとかで提示されるのかとか。紙でもかなり文字が小さくて、すごく読みにくいところがあって、今ご指摘あったように、今のところ1・2・3…にすればいいなと思うんですけど、もう少し字が大きくなるものかとか。あるいはパソコン上でPDFを大きくして見るなら見えると思うんですけど、ではそれが市民にとって本当に伝わるのかっていうことを考えたときに、全体的にかなり小さい印象があります。今までもそうかもしれないですけども小さ過ぎるので、紙の削減というのもわかるんですけど、もう少し大きくなったらいいなと思っています。

〈大石会長〉

事務局の方でどうですか。この字の大きさとレイアウトの関係でいくと。

〈事務局〉

まず先ほど中野委員からご提案いただいた項目部分に関しては、字数を減らして文字を大きくすることで対応できます。

他の部分に関してはなかなか省略が難しいところがあると思いますが、課題・方針・方策をまとめるなど、部分的に対応できるところは積極的に取り組んでいきたいと思います。

〈大石会長〉

因みに資料3が、去年の分厚い評価報告書の1ページ分なんですけど、去年の文字の大きさと、皆さんの見え方としてはギリギリでしょうか。それとも、これも小さいですか。

〈松本委員〉

この資料3だったら、少し空白もあるので見やすいですけど、資料1や4だとびっちり書いてあって空白がなくて見にくいのかなという気がいたします。

それと、資料4の方が1より、やはり私には見やすい気がいたします。事実、この1冊を送っていただいて全部一応目を通して来ましたが、とても大変で、あっちをめぐりこっちをめぐりしながらこの内容を把握したという状態です。ですから、今日いただいた資料4の方が見やすいかなという気はいたします。

〈大石会長〉

ありがとうございます。分野別結合については皆さん同意見で、あとはより見やすさというところで、今、松本委員が仰ったように、これから実績や他の空欄にも文字が入ってくると、字で真っ黒になってしまって全体が見づらいという形ですよ。そのアイデアは何かありますか。

〈泉委員〉

課題の部分とか方針・方策ぐらいまではすごく共通しているので、逆に課題とか方針を目次みたいにして外に出したら少し枠が空くかなという気がします。

課題Ⅰ、課題Ⅱ、課題Ⅲ、課題Ⅳにすれば、区切りもあるし見やすい気はしますがいかがでしょうか。

〈大石会長〉

イメージとしては、課題 I 何々、方針 1 何々っていうのを表の上に出して書いてからこの表をいれていく形にして、ちょっと左に動かす感じでスペース確保して、次にいったら、I の 2 の方針はまたタイトル入れて、表にするっていう形で。そうすると確かに少しスペースが確保できるのかなと思います。

他にアイデアがある方はぜひ。

〈藤井委員〉

先々ですね、これを市のホームページに PDF またはエクセル等で載せるということを想定したときに、パソコンを持っている方はいいんですけど、今の若い人だとスマートフォンとかタブレットとかで見る方が多いとなると、文字の拡大機能も機種によっては限度があるので、そうすると、文字を見るがゆえに全体が見えない状況にもなりかねないところがあります。例えば資料 4 の男女共同参画に配慮した項目のセルの中に「男女共同参画に配慮した項目 1」という文字を入れなきゃいけないのか。それとも例えば「★ 1」という形で表の中において、それに対応したものはこれだよっていう形で表の外側に注釈で流すのか。

そのあたりもちょっと考えてもよろしいのではないかなと思います。何が何でもこの表の中にこの何文字にわたるものが入ると、さらに本当に見づらくなるというのは感じました。

〈大石会長〉

今の話でいうと多分、第 3 次事業評価報告書の資料 3 と見比べたときに、資料 3 の複数選択を落としこんでこの辺にしたんだと思うんですけど、むしろ一つの枠にしてしまって、番号で例えば 1～4 の説明が上に書いてあるわけなので、番目で 1・2…だけ書くとか、資料 3 で丸を付けた番号だけ書くようにすると多分もっと圧縮できて、かつ藤井委員が言ったように見やすくなる、そういう感じですかね。これも一つご検討ください。

ありがとうございます。他いかがでしょうか。

〈大石会長〉

では、レイアウトについてはこの辺りで終えて、もしまたアイデアがあったら、ぜひ事務局に個別にお伝えください。

中身のほうに入っていきたいと思います。

今レイアウトの話をしましたけれども、事前に配布された資料 1 を基に意見等あればご質問を含めてお願いします。

〈小澤委員〉

資料1の指標一覧表だと、例えば42番の事業をみてもらうと全く同じものが三つ並んでいて、ここで気づいたんですけど、同じようなものが14ヶ所あるんですよね。これを第3次の評価報告書で見ると、一つの事業の中でちゃんと区別でき中身がわかるようになっているので、その辺をきちっと見直していただきたいなというのを一つ要望します。このままだと、何を言っているかさっぱりわからない一覧表になっていると思いますので、ご検討をよろしくお願いいたします。

〈黒田委員〉

初めの方の事業一覧表から似たようなものがずっと並んでいくんですけども、この指標のところが目標年度とか開始年度や令和4年度実績も入っていたりするので、そこは指標として出てくればいいなと思いつつも、事業一覧表に指標が入っていると分かりやすいんじゃないかとか、私も同じことを思っています。

例えば指標一覧12ページの78番の事業「情報管理の徹底」も開催回数に2回、1回と書かれているものが意味がわからなくて。事業一覧表の6ページの78番を見ると、中身がわかってくるだろうなと思うんですよ。そういったところに入っている方が、指標は指標で大事だけれども、それが何のことか分からない。冊子の中であっち見てこっち見てとなってしまうので。

一覧になっている方が良いとしたら、先ほどの資料4にあったようにこの事業一覧表も少し方針・方策のところを上げたりとかして何行か減らせると一つにまとめられるんじゃないかという気もします。

ただ、まとめてしまっていていいかどうか、やっぱり一覧もある方がいいような気もするけど、一覧としてこの指標もあった方がわかりいいような気もすると思いつつ、事務局の方でも一覧表としてここには資料を載せない方がいいって判断もあるような気がするので、ここはどうかと思ったところです。

指標一覧がわかりにくくて、ここも事業の番号だけじゃ何の話をしているのかわからないので、結局また同じことを同じようにやってかなきゃいけないのは、見えにくいかなということも思っていました。

〈大石会長〉

はい。ありがとうございます。事務局の方ではいかがですか。

昨年度のもの比べて、小澤副会長のコメントとしては昨年度のものの方がわかりやすいということで、端的に言うと戻すということも一つでしょうか。何か変えたことの意図とかあれば。

〈事務局〉

いえ。直接変える意図があったわけではなくて、元々のものにしようとは思っていたんです。ただ、今おっしゃっていたように、今回上げている事業のくくりでやると同じようなものが並んでわかりづらいというような結果になってしまっているの、そのあたり区別がつくような形で編集してみようと思います。

〈大石会長〉

はい。例えばですね、お手元がない方もいらっしゃると思うのですみませんが、3次の事業評価報告書だと「ひとり親家庭等に対する就業自立支援事業」という事業名の中で指標ごとに「セミナー参加者数」「パソコン講習受講者数」などって書いて右側に人数とか書いてあるんです。多分、小澤副会長が仰ったようなことはそういう形であればわかりやすいということなので、3次のまとめ方がベストなのかどうかは別として、これぐらい落とし込んだ方が一覧性があるという意見だと思いますのでご検討ください。

黒田委員からもご指摘がありましたけど、事業一覧表の記載について何かほかに質問ご意見ございますか。

〈松本委員〉

もう一つ、この指標一覧の中に人数と%で示してあるところで、参加人数を80%とかって書いてあって、それはわかるんですけど、人数で示してあるのと割合の%で示してあるのと、何か意図があってそういうふうに表示しているのかなって疑問に思ったんです。

〈事務局〉

各課が設定している指標に関しては、各課の考え方があります。事業によって%の方が集計しやすい、数の方が直接出しやすいところがあると思うので、具体的に統一しているわけではないです。ただ例えば、市民協働課の事業でいうと、講座の参加者に関しては、定員に対しての参加割合といった形で出しています。というのが、参加人数だけを出してしまうと、定員が事業によって異なるため、当該の事業に関しては統一して参加割合にしています。

〈松本委員〉

わかりました。

〈事務局〉

補足ですけれども、それぞれの所属では、それぞれの所属としての計画を持っているケースが非常に多く、その計画の中で同じ事業を指標の項目等にしてい

るケースがございます。その関係で%であったり、人数だったりとということもあ
ると考えております。

〈松本委員〉

ありがとうございました。

〈大石会長〉

ほかに質問、意見いかがでしょうか。

〈木暮委員〉

単純に思ったのが、指標一覧にしたいのは分かるんですけど、別に一覧という
くくりじゃなくてもよくて、指標のページっていう形にして「何ページへ」とか
でいいんじゃないですかね。例えば、事業評価シートが先にあるって、その評価に
関してはこの小さい表で書かないで、何ページって言うところに書く。要は指
標は指標のセクションがあって、そこの番号に飛ばせば、重複して書いてる文字を
全部圧縮できると思いました。

私も見たときに交互に見たんですよ。そのときに、例えば事業評価シートを見
て、こういう内容なのねって読んだ後の一番右の欄とかに、指標については何ペ
ージの何番と書いてあれば、その一覧の方だけのまとまったほうを見て、なるほ
どこの事業はこの評価ねっていう形で書いてあれば、そっちの方が圧縮はでき
るんじゃないかなとは思いました。ただ、見開き2ページ内で完結させたいとい
う気持ちもあったと思うんで、そこの兼ね合いですけど。今のままでは、どちら
にせよわかりにくいので、先に中身がわかった方が順番としてはいいと思いま
す。指標が先に来るよりも、中身がわからないと意味がわからないと思いました。

〈大石会長〉

はい。ありがとうございます。そうすると、逆に個別事業評価を先出する、順
番としてはそういうイメージですかね。

そうすると、目次のところで見ると、目次の1(5)に指標一覧表が入ってし
まっていて、これを出すとすると、どういう目次になるかというバランスですか
ね。

指標一覧表の場所を変えることについて事務局側でどうでしょうか。目次を
大きく変えるというところは。

〈事務局〉

順番は変えても問題ないです。例えば今の目次でいうと計画の趣旨・性格・期

間そういったところでは流れになっていると思うので、そこは変えない方がいいとは思いますが、流れとかを考慮して変えた方がよければ、それは変えてもいいと思います。

〈黒田委員〉

目標などは計画書の中に入っているものなので、目標年度（令和7年度）のところに関しては、むしろ私はこの事業一覧表のところに入っている方がわかりやすいと思っています。この指標っていうのは結局結果ですから、結果に関しては後ろに入れた方がわかりやすいと思うので、そうすると3ページの事業一覧表に目標が入っていれば、結果は最後に何かが一覧で出てくるとかでもいいのかなって気がしました。評価の結果としては後ろの方で入れていく、現状はどうなっているのかっていうことだとかは後の方に出るとかっていうのはありませんかというふうに思っています。

〈大石会長〉

他にご意見いかがでしょうか。

今出た2つのご意見からすると、個別の事業についての説明を少し前出しして、その結果についての指標はまとめたの方が流れとしてはいい、という方向でよろしいですか。

〈木暮委員〉

読者からすると、やっぱりスタートでその中身がわかって、結果どうなったという順番でないとわかりにくいから、計画の説明、方策、結果こうなったというのが多分一番わかりやすいのかなという気はします。

〈大石会長〉

事務局から何か個別に確認しておきたいことはありますか。

〈事務局〉

今色々とお話いただいたことも全部含めて一度持ち帰らせていただいて、考えさせていただきます。

〈大石会長〉

はい。ありがとうございます。あと今回の新しい試みとして、わかりやすさという点では、事務局が工夫して全体の紙を減らしつつ、でもわかりやすくというところで、前回と違っているのが16ページ以降です。

円グラフが見やすいかどうかもありますけども、効果があったかどうかを見つつ評価のバランスが全体から見てどうかっていうところを載せたのは今回初めての試みで、この辺り何か追加で良くしていく案があればぜひ。

〈木暮委員〉

事業評価報告書の枚数がすごく減っていて嬉しかったです。去年は大変だな分厚いな、読む気なくなるなって思ったので、そこは事務局ありがとうございますと、きっと市民もそう思うので先にそれは言うておかなければならないと思いました。

〈大石会長〉

そうですね。

他は皆さんいかがでしょうか。

〈山下委員〉

大したことではないんですけども、課題がローマ数字で、方針は普通の数字、方策は丸つき数字、その後は全部普通の数字にまた戻ってるんですね。

統一性の話なんですけれども、事業一覧表や指標一覧表だと「事業No」、評価シート方だと「事業番号」って形で、結局どの番号が同じものを指しているのかわかりづらいので、書き方をまず統一した上で、違うページを開いた時にどれとどれが同じことを指してるか、わかりやすくしていただけると。数字のバリエーションもなかなか難しいかなとは確かに思うので、何か良い方法があれば。

あとは、指標一覧表とか事業一覧表の方になってしまうと「具体的な事業番号」が書かれてないっていうところもあったりすると思うので、統一性を図った上で見やすいようにする方法があればと思うんですが。

〈大石会長〉

はい。ありがとうございます。

「事業番号」に統一でよろしいですか。

〈事務局〉

はい。「事業番号」に統一します。

〈大石会長〉

それと、指標一覧表には事業Noとして左側に出ているので、一応、事業番号は今ご指摘のように書いてはあるんですけど、やっぱり見づらいっていうところ

ですかね。山下委員がおっしゃったのは。

〈山下委員〉

そうですね。はい。

〈大石会長〉

逆にどのあたりに配置すると見やすくなるとかご意見ありますか。

指標一覧表の9ページの話なんですけど、事業番号としてここに書くよりは、例えば事業名を先にしてその右側に事業番号入れた方がわかりやすいとかそういうイメージですか。

〈山下委員〉

というよりは、事業番号としては問題ないと思うんですけども、後の評価シートの方だと事業番号をさらに細分化した「具体的事業番号」があるじゃないですか。指標一覧表の方にはそれがなくて、事業番号で統一しているので、そこら辺の書き方とかもあると。

〈大石会長〉

そのあたりは事務局で統一する形でよろしくお願いします。
ありがとうございます。

〈中村委員〉

これって、そもそもプロにお願いすることはできないんでしょうか。

この男女共同参画推進委員というのが、この見やすさとかレイアウトの話をするために集まっているわけではないと思うんですね。

皆さん恐らくアマチュアだと思います。プロにお願いして、こんなふうに見せたいんだって言えば、一発で何かやってくれそうな気がするので、だからそのことを検討されたらどうかなと思いました。

あと100人の80%と10人の80%では全然対象人数が変わるので、ここで如何様にもごまかせちゃうんで、なんだかよくわかんる気がします。その分母も記されてないので、結果これって浸透するのかもしれないのか全然わかんないと思いました。

あとは円グラフのところ、文字ってなかなか人は読みたがらないと思うんですけど、なんか絵にすることでなんとなく視覚的に頭に入り、多いとか少ないとか、良かった悪かったというのが頭に入りやすいというのがあるので、グラフ化って大事だなと思っているんですけども、この文字とグラフの中にも文字があ

って、先ほどから同じことが何回も出てくるのでそれだけで見たくなくなっちゃう。グラフならグラフだけで十分と思います。

グラフ化するときのセオリーとしては、なるべく円グラフを使わないっていうのは言われているので、だからそんなこともご検討されると良いかなと思いました。

〈大石会長〉

はい。ご意見ありがとうございます。一つ目の質問は予算との関係になってくるんですが、その点いかがでしょうか。

〈事務局〉

はい。外部委託につきましてはどうしても予算との兼ね合いがありますので、また次年に向けて、内部的に色々考えていきたいと思います。

〈大石会長〉

そういう視点を伝えていただくのが大事だと思うので、なかなか全部投げると3桁や4桁のコンサル料を取られるという話なんですけど、ただ外部がチェックするっていう、そのアドバイスのことを言ってもらっただけでも多分違うっていう意味では、イチかゼロで外部委託するかしないかよりは、そういう目も入れてほしいという意見で持ち帰りいただければと思います。ありがとうございます。

あとプロではないのは本当におっしゃるとおりですけど、やはり市民として皆さんここにいらっしゃる関係上、もちろんプロの立場からもいらっしゃるということで、毎回出る話として広報の話ですとか、見せ方や伝え方っていう点では、ぜひアイデアをいただいて、実現できるところから取り入れていきたいと思ってますので、よろしくお願いします。

〈大石会長〉

では、他に事業評価報告書そのものに何かお気づきの点、ご質問等いかがでしょうか。

〈大石会長〉

事業評価報告書については、よろしいでしょうか。

では続けて、お手元に本日配布された事業評価報告書の概要版について、事務局から説明をお願いします。

〈事務局〉

それでは、事業評価報告書の概要版について説明させていただきます。

資料2 第4次船橋市男女共同参画計画事業評価報告書の概要版をご覧ください。

こちらは、4次計画から新たに作成したいと考えており、事業評価報告書の要点だけをコンパクトにまとめて、市民の方の手に取りやすいものにできたらと考えております。

概要版のレイアウトを簡単に説明させていただきます。

まず1ページでは、事業評価報告書概要版の趣旨説明と、4次計画の施策の体系から「課題」「方針」「方策」を掲載します。

ページをめくって中面をご覧ください。

2ページでは、事業評価報告書(16～20ページ)の評価結果について、「男女共同参画に配慮した項目」の評価数と、「方策の観点からの自己評価」の全体評価を、評価数と%の円グラフで掲載します。

3ページでは、事業評価報告書の139事業から、方針ごとに抜粋した事業とその実績を紹介するページとしました。

裏面4ページをご覧ください。

裏面は、市民協働課が実施した事業の一部内容を写真と共に紹介し、ページの下部分では、男女共同参画の活動拠点施設である男女共同参画センターの利用状況について紹介できたらと考えております。

説明は以上となります。

〈大石会長〉

はい。ありがとうございます。

今説明があったとおり、概要版の作成は今回初の試みということで、まさしく皆さんおっしゃった、コンパクトにわかりやすくというところを4ページにまとめたものになります。

こちらもぜひ、見せ方も含めて、先ほどグラフの話等もありましたけど、忌憚のないご意見ご質問いただければと思いますのでお願いします。

〈藤井委員〉

すいません、あまりにも根本的な疑問みたいな形で、若干批判めいたら申し訳ないんですけど、方策の観点からの自己評価について、これはあくまでサンプルかもしれないんですが、「一定の効果があった」というところに最大得票が入っているというのが非常に特徴的でして、これはこういった評価の3項目にするんですね、そこに票が集まりがちなのはわかりますけれども、そこに集まった結

果で「一定の効果があった」ものを含んだら94%が評価しているというのは、若干、結論の出し方としていかがなものかと私は思います。

やや効果があったとか、何割か効果があったとか、その一定の効果というのは極端な話、9割の効果があったものも1割の効果があったものも含むわけでございまして、よく言いますけど思考力というのは複雑なものを複雑なままでとらえられるかどうかが一番重要だということがございます。そこを考えればここを3段階ぐらいとか、または2段階ぐらいして、「一定の効果があった」というものに全てを集約させるのは、あまり評価の基準としてはいかがなものなのかと私は思っております。

〈大石会長〉

はい。ありがとうございます。そうすると今回には間に合わないですけども、自己評価についてもう少し細かく、今は「効果があった」「一定の効果があった」「あまり効果がなかった」という3つの項目しかなんですけど、これの改善というご意見ですか。

〈藤井委員〉

そうですね。3段階だと本当に真ん中ばかり選択する傾向があるんですね、人間の心理として。その松竹梅の真ん中をもう一つぐらいは分けたいというのが、今後可能であればというところでしょうか。

事業の効果がどのくらいあったのかということを経験的ではなくて、しっかりと検証していただけたらという思いを込めて申し上げました。

〈大石会長〉

ありがとうございます。事務局にお聞きしますけれども、この評価項目を変えることは途中からだとなかなか難しいことはありますか。計画全体の流れの中だと、計画途中で項目を変えてしまうと比較が難しいとかその辺りはあるんですか。

〈事務局〉

はい。そうですね。5年ごとに計画を見直しておりますので、それが変わるタイミングのところで変えるというのが前との比較がしやすく一番いいのかなと思うんですけど、可能性も含めて持ち帰り検討させていただきます。

〈大石会長〉

はい。ありがとうございます。他いかがでしょうか。

先ほど中村委員から円グラフに厳しいコメントがありましたけど、これはど

う思われますか。

〈中村委員〉

あの、円グラフが絶対駄目というわけではないんですけども、円グラフにすることで5人なら5人と認識がされなくなっちゃうので。5人ってすごく大事で、認識してもらって5人だと思いますので、普通に棒グラフでもいいかなというのは思ったりはしますが、そこは絶対ではないです。

すいません。追加で、評価の件で、前回も1回申し上げたんですけども、自己評価だけでなくっていくのはどうかなと思っていて、他の人が評価するっていうのが入ってくるとシビアに評価をつけると思いますし、ちゃんと市民に伝わっているかということを考えることに繋がっていくと思うので、ぜひ次回でも次々回でも10年後でもいいんですけど、他の人の評価が入るっていうことを検討していただけたらありがたいなというふうには思います。

〈大石会長〉

はい。ありがとうございます。

他ご意見いかがでしょうか。

まず概要版をコンパクトに出すこと自体は皆さんよろしいですね。ご覧の通り大きく今回プラスになったところで、より分かってもらえる、見てもらえる、という方向でよろしいかと思います。

因みに事務局に質問ですが、この概要版を配るのは評価報告書を配るところとは別のところを想定してらっしゃるんですか。

〈事務局〉

同じところに同時に配ろうと考えていて、例えば、庁内関係各課にも配ることで評価報告を見て意識していただきたいたいという意味でも配るつもりでございます。その際に、この冊子だけだとどうしても目を引かないところがございますので、同時に渡すことを考えております。決まっていることとしては庁内の関係課に関してはセットで配りたいと考えております。

〈木暮委員〉

すいません、今後とか先のことについての話ですけど、この事業って中村委員もおっしゃっていたんですけど、頑張っって評価がある課と評価がない課がわかった方が良くて、いわゆる行政課が良いもの悪いものの判断した視点をつけていただくようなページが1ページでもあって、ただ、例えば1・2・3位までは発表するとか、そういうのがあってもいいんじゃないのかなと思います。じゃな

いと評価って何の意味があるのかなと思いました。で、多分市民がきっとその資料を見てこんなに効果が出てないならやめてしまえと、その事業に人を割くのも。それを無くしたくないならちゃんと成果を出せていうことに繋がって評価になるのかなと思ったので、直ぐの話ではないんですが、これをつくる意義ってそこなのかなって、中村さんのお話を聞いて思いました。

〈中村委員〉

そもそもこれって毎年出すものですか、それとも5年に1回。

〈事務局〉

はい。概要版は評価報告書に合わせて毎年出すことを考えています。

〈中村委員〉

だとすると、前年より増えたとか減ったとか、進捗みたいなことが見えると、今仰っていただいたような、ここ頑張っているねとか、こういう事業は市民が求めているねとか、求められていないものは載せないかもしれないですけども、求められているものが良くわかるとか、そういうことが見えるようになるかなと思いました。

〈大石会長〉

比較というのを載せるのは可能ですか。

〈事務局〉

レイアウト的にどこまで入れられるかというのもあると思うので、持ち帰らせていただきます。ありがとうございます。

〈大石会長〉

後は、ゆくゆくはピックアップして良いものは良いとアピールする場としても、この概要版を発展的に使ってほしいというお二方のご意見だったかと思えますので、それは今回無理だとは思いますが、続けていただきたいと思えます。

ほかにご意見ご質問いかがでしょうか。

〈山下委員〉

3ページの事業実績に載せる事業っていうのはどういう基準で選ぶだとか、誰が選ぶっていうことは決まっているんでしょうか。

〈事務局〉

事業実績として掲載する事業については、まだ現在では決定しておりません。これから各課の方に令和4年度の実績を照会しますので、そこから例えば、市民の方に直接関与できている事業とかそういった観点で事業をピックアップして決定していきたいと考えております。

〈山下委員〉

先ほどからお話のあった、市民の方にも成果を得たと評価していただくというようなお話から考えると、各課のものを載せるというよりは、しっかりと成果のあったものを載せるという形で選んでいただいて、もしかしたらいくつかの課が独占するような形になってしまうかもしれないですけども、しっかりと評価されるべき事業を載せていただいた方が、見る側にとっても見る価値のあるものになってくるかと思っておりますのでご検討いただければと思います。

〈大石会長〉

ありがとうございます。

他の意見いかがでしょうか。

〈藤井委員〉

令和4年度の実施事業の評価項目の左半分のところ、男女共同参画に配慮した項目が1～4の評価項目として出ております。

この4項目が、例えば項目の1番に関して、どういうふうな自己評価としてどんな円グラフになるのか。2番についてもどうなのか全然わからないんですねこれだと。つまり、全体として「一定の効果があった」が66%っていうことしかわからないので。項目1.「男女の個人としての尊厳を重んじ、男女の差別を無くすことに配慮した」に関しては市として結構頑張れたけれども、例えば、「固定的性別役割分担意識や性による無意識の思い込みが男女の社会参加に影響しないよう配慮した」については、配慮したけれども効果がいまいちうまうまなかったとか、まだまだ浸透に時間がかかるとか。

そういう、まだまだ課題として根強く残ってるところは何かっていうのを、わかるように、最低限、市としての公式コメントみたいなものをそれぞれこの1～4に対して、中間的なものとしてこういうふうに我々としては考えているみたいなものは出していただいた方がより良いのかなと思います。

〈大石会長〉

はい。ご意見ありがとうございます。

なかなか難しいのは、例えば項目1と4については圧倒的多数の事業でありうと思うんですけど、その事業の中身として項目2と3、特に3が全く関係のない事業もあったりする、そうするとそこは丸をつけられなくて、丸をつけていないから効果はないという意味でいわゆるクロス集計的な統計が難しいので、むしろご意見としては、先ほどの評価の項目の見直しという話もありましたが、うんと先の話ばかりになってしまいますけど、その評価についてそういった視点からも考えていくべきというご意見で、まとめた形になってしまいますけど、評価項目を現実に合わせてものにしていききたいというところを今後も検討していきたいと思いますね。ご意見ありがとうございます。

事務局の方からはよろしいですか。

〈大石会長〉

他いかがでしょうか。

〈木暮委員〉

これも先々のことで、どうせ作るんだったら、さっきの評価に関係してくるんですけど、推進した賞っていうのを設けて、2位か3位くらいの高得点を持ったものがあってそれがパンフレットで紹介できたら一番早いんじゃないのかって思いました。将来的にだから行政のチェックとして賞を設けて頑張った賞は100人だったのが300人になって300%達成でっていう理由とかを書いてパンフにやったことが載ってたらそれが一番伝わりやすいのかな、推進するのかなって思いました。

〈大石会長〉

ありがとうございます。具体的には、例えば再来年になりますけども、令和6年の評価のときにこの推進委員会として推進委員会がベスト3を選んでみるとかそういう話ですよ。消防士のポスターのところを見たんですけど、例えばその取り組みの中に見えないけど、そのポスターの結果で例えば女性が8人から27人いて増えたんだってなったら、その理由を添えてパンフに載せて、そしたらこの推進委員会の意味ももっと出て推進するのかなって思ったんですよ。やることっていうものが。意図としてはそれで合っていますか。

〈大石会長〉

皆さんも頷いていたので、非常にそれは我々としても力を発揮できる良いやり方だと思います。というわけで、再来年のイメージで事務局大丈夫ですか、令和5年は無理ですよ。

〈事務局〉

具体的にどういうレイアウトにするかということも含めて、色々調整が多分必要になってくると思うので、考えさせていただければと思います。

〈大石会長〉

色々なアイデアありがとうございます。
他よろしいですか。

〈大石会長〉

では、今日も色々なご意見いただきまして、活発な議論をいつもありがとうございます。

本日の議題は以上となります。お疲れさまでした。